撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 変更する項目を選び、設定を変更します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。
変更した内容に設定されます。

4 **DISP/BACK** ボタンを押します。
撮影画面に戻ります。

メモ
メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

撮影メニュー一覧

• [ ] 内は工場出荷時の設定値です。

EXR モード [EXR AUTO]

モードダイヤルが EXR のときに、シーンに合った EXR モードを設定できます（→ 27 ページ）。

Adv. モード [ ]

モードダイヤルが **Adv.** のときに、高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます（→ 28 ページ）。

シーン選択 SP1［ ］/SP2［ ］

モードダイヤルが **SP1/SP2** のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます（→ 29 ページ）。

☛ チェック

R1600 **1600%** と R800 **800%** は **EXR モード**で**ダイナミックレンジ**優先を選択している場合のみ設定できます。

注意

ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。

フィルムシミュレーション [STD PROVIA]

撮影時の発色や階調を変更できます。

設 定	説 明
STD PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
V Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や自然の撮影に適しています。
S ASTIA/ソフト	落ち着いた発色とソフトな階調で、しっとりとした表現に適しています。
B モノクロ	モノトーンの表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。
SEPIA セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気の表現に適しています。

WB ホワイトバランスシフト

ホワイトバランスを手動で微調整します。

◀ または ▶ で微調整する項目を選び、▲ または ▼ で値を変更します。それぞれの値を -3 ～ +3 の範囲で調整し、**MENU/OK** で設定を完了します。

Color カラー [標準]

撮影する画像の色の濃さを変更できます。

設定：**濃い** / **標準** / **薄い**

Tone トーン [スタンダード]

撮影する画像のコントラストを変更できます。

設定：**ハード** / **スタンダード** / **ソフト**

S シャープネス [スタンダード]

輪郭をやわらかくしたいときや強調したいときに使用します。

設定：**ハード** / **スタンダード** / **ソフト**